

名古屋大学大学院環境学研究科・准教授または講師 公募選考要項

1	募 集 件 名	准教授または講師の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	地球環境科学専攻地球惑星科学系地質・地球生物学講座	
4	募 集 内 容	[職務内容] 地球環境科学専攻（地球惑星科学系、以下当系と言う）の地質・地球生物学、地球化学、地球惑星物理学、生態学の研究分野では、地球環境の過去・現在・未来の状態とその変動メカニズムの解明を目指した研究を、また地球環境システム学の研究分野では、環境問題や自然災害等の地球規模課題の解決に資する研究を行い、これらの分野で国際的に活躍できる人材育成を進めています。さらに、当系の各研究分野間の連携を強化し、それらの成果を融合させることによる地球惑星科学および環境学への貢献を目指しています。 地質・地球生物学講座では、地質学の基本であるフィールドワークに基づく構造地質学、古生物学、岩石学を3本柱として、地殻・マントルを構成する物質とその形成メカニズムとテクトニクスそして生物と地球環境の相互作用等の素過程を解明し、過去および現在の地球像を正確に描き出すとともに、地球環境のより良い未来の構築に向けて適切な提言をすることを目指しています。本人事では、当系の上記5つの基幹講座のうち地質・地球生物学講座に所属し、フィールドワークに基づく地質学と関連学問分野に加えて、他基幹講座とも連携しながら研究を行い、さらに当系が行っている大学院および理学部地球惑星科学科の教育（全学教育を含む）に意欲的に取り組む人材を公募します。 <担当授業科目> (1) 大学院（環境学研究科） 博士前期課程：地質学に関する講義、地質・地球生物学セミナー 博士後期課程：地質・地球生物学セミナー (2) 学部（理学部） 地球惑星科学特別研究（卒業研究）、構造地質学、堆積地質学、地質調査法（地質図学を含む）、地質調査（野外実習） (3) 全学教育 地球科学基礎Ⅱ、地球科学実験 <その他> 当系の教務・庶務等に関する業務の担当。 （変更の範囲） 東海国立大学機構が指定する業務 [勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所 [募集人員] 准教授または講師（任期なし） 1 名 [着任時期] 2026 年 2 月 1 日以降のできるだけ早い時期	
5	募 集 研 究	大分類	数物系科学

	分野	小分類	地球惑星科学
6	勤務形態	常勤 契約期間：期間の定めなし	
7	応募資格	・博士あるいはPh.Dの学位を有すること(2026年3月末までに取得見込みも可)。 ・特にフィールドワークに基づく地質学およびそれらに関連する学問分野における優れた研究実績を有し、当研究科の教員と連携し、分野横断的研究の推進ができること。 ・運転免許証（普通）を持っていること（野外実習で必須のため）。 ・当研究科の中長期ビジョンである地球規模課題への対応と新たな知の創造に貢献する研究を行えること。 ・環境学研究科と理学部において教育・研究指導を担当できること。 ・日本語で教育・研究指導を行える能力を有すること。ただし、応募した時点で有していなくても、そのレベルに5年程度で達することができること。	
8	待遇	・待遇東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによります。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制になります。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされます。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止です。 ・特別研究期間（サバティカル）：本学に3年以上継続して勤務した場合6か月、6年以上継続して勤務した場合1年、在職中通算4年まで取得することができます。	
9	応募期間	2025年7月3日～2025年9月22日（必着）	
10	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] 1) カバーレター：様式自由。応募する職位（准教授のみ、講師のみ、准教授および講師の両方、のいずれか）を記入してください。 2) 履歴書 3) これまでの研究経過および教育実績（1000字程度） 4) 研究業績目録 以下のA～Dの4つのカテゴリーに分けて記載してください。 A 査読のある原著論文 B 査読のない原著論文 C 著書 D その他 5) 主な論文（3編以内）のDOI 6) 今後の研究・教育計画（1000字程度） 7) 競争的資金獲得実績 8) 所見を求めうる方の2名の氏名、所属、連絡先 9) 「みなし輸出」における「特定類型該当性の自己申告書」 上記1)～8)を1つのPDFファイルとし、9)の電子ファイルとともに添付書類として、下記の問い合わせ先に記載の電子メールアドレスへ送信してください。 問い合わせ先：名古屋大学大学院環境学研究科 杉谷 健一郎	

		電話:052-789-4865, e-mail: apply-junkyo@eps.nagoya-u.ac.jp [選考内容（選考方法、採否の決定）] 書類審査の後、必要に応じて面接を行います。面接実施者には連絡の上で日程調整を行う。採否の結果は原則として電子メールで連絡します。
11	みなし輸出について	・ 2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員の機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募への応募の際には「類型該当判断のフローチャート」に基づく「特定類型該当性の自己申告書」（様式 1）の提出が必要となります。フローチャートや特定類型該当性の自己申告書は以下からダウンロードしてください。 https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/NqFfpNCbZxjDWNZ ・ なお、採用が決定した場合は、「誓約書」の提出が必要になります。
12	その他	・ 名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・ 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・ 面接に要する交通費は支給しません。 ・ 本学では、多様性の推進やワークバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の Web サイトをご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンターWeb サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクエティ、インクルージョン&ビロング（Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB）推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・ 出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。